

英語科 学習指導案

1.日時：平成 27 年 2 月 18 日(水) 第 5 時限

2.場所：略

3.学年：第 2 学年 2 組(33 名)

4.単元：ONE WORLD English Course 2 Lesson9

5.単元目標：(1)to 不定詞の名詞的用法を使って、ものごとを説明することができる。

(2)to 不定詞の名詞的用法の様々な表現を使い、スキー修学旅行についての英作文が書ける。

6.教材観：Lesson9 では to 不定詞の名詞的用法を学習する。既習の副詞的用法を復習し、動名詞、「～すること」とも関連付ける。Lesson9 Part2 では名詞的用法を使い、「～することは(人にとって)・・・だ」という構文を学習する。Lesson9 Part3 では名詞的用法を使い、「(人に)～するように言う、してほしい」意向や考えを伝える表現を学習する。

7. 生徒観：略

8. 指導観： 本時のねらいは、スキー修学旅行での自分や友達の活躍について英語で伝えることである。スキー修学旅行では、生徒それぞれに役割があり、全員の協力のもと行事を成功させるよう取り組んでいる。生徒に自分や友達の頑張りを英語でまとめて伝えることで絆を深められる活動にしていきたい。また、暗唱ではなく、丁寧に発音などに気をつけて読ませることで、聞き手のことを考え、伝わりやすい発表の仕方を身につけさせたい。本時のスキー修学旅行の英作文でも **Four Square Writing** を用いて、今までに練習してきた英作文を参考に自分で考えて書けるように、習った文法や書いたことのある表現を活用することに気づかせるように指導する。

9. 単元の評価規準

A コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての 知識・理解
①ペアやグループで積極的に話そうとしている。 ②タスクに向かって工夫して書こうとしている。 ③Lesson9 で学習した表現を用いて、テーマに沿って書こうとしている。	①スキー修学旅行について、まとまりのある英文が書ける。 ②スキー修学旅行について書いた英文を発音などに気をつけて、わかりやすく読むことができる。	①スキーについての英作文をきいて、レポートを書くことができる。	①to 不定詞の名詞的用法の文の構造を理解している。

10. 単元の指導と評価の計画

次	時	学習の内容・ねらい	評価規準・評価方法
第一次	第1時	to 不定詞名詞的用法復習 ・ to 不定詞を用いた文の構造を理解する。 ・ to 不定詞を用いて、自分の趣味について、「なにが」、「どうして」、「いつ」、「どこで」を含めて説明する英文を書く。	○A①（観察） ○A② （ワークシート） ◎D① （ワークシート）
	第2時	Lesson9 Part1 本文 ・ 教科書の本文を通して、to 不定詞の名詞的用法を理解する。 ・ 教科書の本文から、文を書くのに必要な表現を探し、to 不定詞の名詞的用法を用いて、自分のクラスやクラブ、家での仕事についての英文を書く。	
	第3時	It is ~ for (人) to …導入 ・ [It is ~ for (人) to …]を用いた文の構造を知る。 ・ [It is ~ for (人) to …]と、いくつかの形容詞を覚えて、自分の身近なことについて英文を書く。	
	第4時	Lesson9 Part2 本文 ・ 教科書の本文を通して、to 不定詞の名詞的用法を理解し、[have to],[don't have to] の構造を知る。 ・ [have to],[don't have to]を用いて、一日の生活の中で、「しないといけないこと」や「しなくてもよいこと」について文を書く。	
	第5時	want 人 to~, tell 人 to~復習 ・ [want 人 to~, tell 人 to~ask 人 to~,]の文の構造を思い出す。 ・ Lesson9 Part3 本文 ・ 教科書の本文を通して、[want 人 to~, tell 人 to~]の使い方を理解する。 ・ 教科書の本文の表現を用いて、クラスの友達のいいところについて英文を書く。What did you find out about good points of your friend? – My friend ○○~/ I'm impressed because~	
第二次	第6時 (本時)	スキー修学旅行英作文 「活躍～自分と友達が頑張ったことを英語で伝えよう～」 ・ Lesson9 で学習した to 不定詞の名詞的用法を用いて、スキー修学旅行で自分や友達が頑張ったことについて書く。	○A①②（観察） ◎A③ （ワークシート） ◎B①
	第7時	スキー修学旅行英作文 「活躍～自分と友達が頑張ったことを英語で伝えよう～」 ・ Lesson9 で学習した to 不定詞の名詞的用法を用いて、スキー修学旅行で自分や友達が頑張ったことについて書き完成させ、清書す	

		る ・書けた英作文を友達同士で確認する。	(ワークシート) (第6時～第8時)
	第8時	スキー修学旅行英作文 「活躍～自分と友達が頑張ったことを英語で伝えよう～」 ・スキー修学旅行についての英作文を完成させ、清書する。 ・発表に向けて、発音など読み方を練習する。	
第三次	第9時	スキー修学旅行英作文発表 「活躍～自分と友達が頑張ったことを英語で伝えよう～」 ・スキー修学旅行についての発表を発音などに気をつけて行う。 ・スピーチの内容を理解し、メモを取り、自分の感想も含めてレポートを書く。	◎B② (観察) ◎C① (ワークシート)
	後日	to 不定詞、It is～for 人 to…、want 人 to～	ペーパーテスト

◎…全生徒の記録を取る評価 ○…必要に応じて記録を残す評価

11. 本時の展開

(1)本時の目標

自分と友達の活躍について英語で書くことができる。

(2)本時（第6時～第8時）の判断規準

- A…人に伝わるように工夫して書けている。
- B…感想を含めて自分と友達の活躍について書き、まとまりのある英文が書けている。
- C…自分や友達の活躍についてまとめることができていない。

(3)本時で使う教材

Four Square Writing ワークシート

(4)本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準
帯活動 (5分) 導入	グループトーク スキー修学旅行について話す。 話したことを書いてまとめる。	グループトークは、机間指導をし、全員が参加しているか観察し、スムーズに行えるようにする。帯活動として行い、定着させる。read and look up で相手を見て会話をするように注意する。	
	<u>Today's Goal</u> スキー修学旅行の英作文を書く。 「活躍～自分と友達が頑張ったことを英語で伝えよう～」	サンプルを見せて説明。 サンプルは読み聞かせをするように説明し、内容を聞いて理解させる。 今までに使ったことのある表現を活用して書くことに気づかせる。	

(10 分)			
	今日の使える表現 ノートやプリントを見て、使える表現を探す。 Four Square Writing で文を作りまとめる。	机間指導をし、書き始めている生徒に助言をする。 Lesson9 で書いた文を参考にして書かせる。	
展 開 (30 分)	やってみよう ㊦個人で Four Square Writing で考え整理して英文を作る。 ①自分の活躍について書く。 ②友達の活躍について書く。 (③感想などを書く。) (④接続詞を使って、英文をまとめる。) ㊧グループで確認し、教え合いをしながら書く。 ㊨間違えやすいところやいいところを共有する。書きたいことを振り返る。	机間指導をし、書き始めている生徒に助言をする。 接続詞を使って、文がつながるようにする。 プリント・ノート・辞書で調べながら書けるようにする。 個人活動中は、サンプルは前に掲示したままにし、書けない生徒が見て書けるようにしておく。 グループ活動ではサンプルは外し、グループで教え合いができるようにする。 友達にヒントを教えてもらいながら書く。書けた文をお互いに見て、間違いを直す。 間違えやすいポイントを共有してスムーズに書かせ、書きたいことや使いたい表現を整理させる。 早く書けたら、書けた生徒同士で確認し合う。	◎スキー修学旅行について、わかりやすくまとまりのある英文を書くことができる。 B①(ワークシート) (第 6 時～第 8 時に継続) ◎資料を活用して工夫して書こうとしている。 A②(観察)(ワークシート) *指導の手立て 今までに使ったプリントなどを見て使える表現を探すように助言する。 修学旅行で何をしたかを助言し振り返えさせる。
まとめ (5 分)	ノートやプリントで表現が使えたか確認。 振り返りシートで整理する。	書いた英文を提出させる。 英作文は回収し確認する。まだ書き足りないことや、書き忘れていることがないか考えさせる。	